

# 青少年ふくしま

福島県青少年育成  
県民会議第31号  
平成24年11月16日(金)

## 「大人への応援講座」講師会議を実施！

大震災・原発事故後の復興元年と位置づけた今年度は、青少年育成県民会議も多くの改変すべきことがあり、10月13日(土)実施の講師会議ではさまざまな課題やその対応について確認をし理解をいただきました。

今回は、講師会議で確認・協議した主な内容について、各市町村民会議に関連するものをまとめましたのでご参照ください。

- 1 「大人への応援講座」での主な変更点
- 2 福島県青少年総合相談センターと「出張相談会」
- 3 協議における主な意見から



↑ 講師会議で藤原常勤理事が挨拶

### 1 「大人への応援講座」での主な変更点

- 講師謝金は主催者負担が原則→青少年育成との関連が深い場合は県民会議で対応
- 申込みや報告は、インターネット利用が可能→県民会議HPよりダウンロード可！
- 各地方振興局を経由せずに、各市町村民会議から直接県民会議へ申込みを！

### 2 福島県青少年総合相談センターと「出張相談会」の利用方法

- 全国の小・中学生から40歳未満の子ども・若者で、不登校・ひきこもりが80万人以上といわれる中、福島県でも1万人以上の対象者が予想され、この問題に全県的視野で対応を強化したい。
- その方法の一つとして、「大人への応援講座」と連携した「出張相談会」を模索している。講座主催者・各講師の了解のもとに弾力的な方法で実施したい。→事例として「いわき青年会議所」主催の『親と子の未来創造塾』(裏面)を参照のこと

### 3 協議における主な意見から

- 発達障がいもからみ人間関係が築けず不登校やひきこもりになる例が多く、福島県は原発問題もあり今後が心配だ。訪問相談

の態勢は、まだまだできていない。

- いじめ・虐待など見せしめの体験などやできて当たり前前の風潮がある。地域として父母の役割を果たせるような居場所(自由にできる場所)づくりを大切にしている。
- ネガティブな数値は出るが社会の問題解決につながっていない。対象者と一緒に考えてくれる専門機関のかかわり方・スタンスの変化が必要になってきている。
- 社会が「右肩上がり+失望感(無駄)」の風潮の中で、青少年の心に「生きていてイイ」という意識が育っていない。「夢を持たせる大人の姿」を見せる必要がある。
- 学校時代はよかったが大人になってひきこもっている例もある。復帰のきっかけとなる「地域づくり」が必要である。
- 不登校の子どもも夢を持っている。復帰させるには大変なエネルギーが必要になる。グループワークトレーニングなど予防的な処置を大切にしたい。
- ひきこもりから守るのは親の姿勢が大切で、親が子に代わってやるのではなく、進んで地域や人と関わらせ、地域での役割を果たさせることなどを大事にしたい。
- そのほか …

★ 貴重な意見が多く出されました。福島県や全国の子ども・若者のすばらしい未来づくりの一翼を担えるよう、「福島県青少年育成県民会議+福島県青少年総合相談センター」の「大人への応援講座+相談事業」の充実に向けて、今後もより活性化したあり方を検討し改善に努力したいと思います。各市町村民会議からの要望をお願いします。

## 社団法人 いわき青年会議所 主催

# 「親と子の未来創造塾」を紹介します。

今年度の『大人への応援講座』に関する事業で、たいへん充実し地域に貢献している例として、いわき青年会議所（理事長：丹野 知さん）が青少年生活環境向上委員会（委員長：岡田 伸一さん）を中心として実施した～大人が変わる事で子供の笑顔を作りたい・ここに輝く未来がある！～『親と子の未来創造塾』の実践内容を紹介します。

この事業のすばらしさは、4回シリーズとして親には「家庭や地域での教育のあり方」、子どもには「ものづくりのおもしろさと仲間との交流」を同時並行で行ったことです。

4回の未来創造塾の概要は、次のとおりです。

### 第1回 9/1(土)9:00～12:00

○ いわき秀英高校：開塾式・全体写真撮影

★ 親：親子のコミュニケーションづくり

☆ 子：陶芸制作体験

◎ 親の応援講座では、市川誠子講師が対応し、子育ての中で家庭でのコミュニケーションづくりの意義とその方法について、注意点も含めながら具体的に説明しました。



↑ 市川先生の講義

### 第2回 9/15(土)9:30～15:00

○ とまとランドいわき

★ 親：心安らぐ家庭のあり方について

☆ 子：農作物の学習と収穫体験

★ ☆ 午後は親子でジャム作り教室

◎ 親の応援講座では、清水国明講師が人生を左右する共通課題として、自己肯定感・自己信頼感を育てることをあげ、親が子育てで子の成功体験やOKメッセージを出す重要性を説明しました。

### 第3回 10/6(土)10:00～12:00

○ いわき秀英高校

★ 親：食育と子どもの成長について

☆ 子：陶芸制作体験～第1回制作の色づけ

◎ 親の応援講座では、武田洋子講師がなぜ食育が重要なのか？食育は知・徳・体育の基礎であることや、バランスのよい食事＝主食＋主菜＋副菜＋汁であることなど、現代っ子の食の課題に触れながら食育の必要性を具体的に説明しました。

### 第4回 11/1(土)10:00～12:00

○ いわき・ら・ら・ミュウ：閉塾式

★ 親：地域における子育てについて

☆ 子：タイムカプセル（缶詰）制作

◎ 親の応援講座では、鵜沼智恵子講師が対応し、子どもの居場所“マリーン”の実践から、地域で子育てに協力し、子どもに約束と自己責任による「生きる力」を育むボランティア活動のあり方を説明しました。



↑ 鵜沼先生の講義

※ 第4回では主催者と鵜沼先生にお願いし、次のような形で「出張相談会」を加えさせていただきました。

① 鵜沼先生の講義 10:00～

② 北部相談員（県青少年相談センター）が青少年問題と相談状況の説明 11:00～

③ 伊藤専門指導員（県青少年育成県民会議）が第1回～第4回のまとめ 11:13～

④ ①～②の補足・質疑応答 11:20～

⑤ 閉塾式の後、個別相談・質問への応答に 12:00から30分ほど対応



↑ 2名による応答



↑ 子ども達の活動

※ いわき青年会議所の皆さんに御協力いただき、「出張相談会」を弾力的に運用しました。

## 「少年の主張」全国大会の結果

◆ 11月11日（日）国立オリンピック記念青少年総合センターで実施された少年の主張全国大会において、東北・北海道ブロック代表として発表したいわき市立中央台北中学校の山野邊のどかさんが、『審査委員会委員長賞』を受賞しました！



